

# 明日への扉

平成29年6月号

京都市立春日丘中学校

道徳通信

\*\*\*学校教育目標\*\*\*

『確かな自立と志ある貢献』

今年はまだ、あまり雨が降りませんが、梅雨まっただ中です。暗い朝は、なんとなく元気が出ないな、色々なことが面倒だな…そう思う人も多いでしょう。“晴耕雨読”という四字熟語を知っていますか？晴れた日には外へ出て田畠を耕し、雨の日には家の中で読書をして、のんびりと生活することをいいます。雨の降る日は、自分のことを見つめたり、片づけをしたり、学習に取り組むいい機会になるかもしれません。きっと悪いことばかりではありませんよ。暑い夏を迎える前に、一歩前進できる有意義な時間にしたいですね。

ひと月に1回、『明日への扉』（道徳通信）を発行します。ホームページにもアップしますので、おうちの方と一緒に見てもらえたうらうと思います。「心の豊かな人になってほしい、地域に貢献できる人になってほしい」これが私たち春日丘中の教職員の願いです。

\*-\*-\*-\*-\*-\*-\*授業の様子を紹介します-\*-\*-\*-\*-\*



## “みんなで跳んだ”

初めての体育大会を2週間後に控えた5月13日（土）の休日参観日の報告です。1年生は学校行事とつながりのある資料を使いました。春日丘中で恒例となっている大縄跳びのお話です。（2、3年生のみなさんは知っているかも？！）

内容は、大縄跳びが苦手な仲間のいるクラスの話で、その彼に応援係になってもらうのか、最後まで共に跳ぶことに挑戦するのか、生徒たちの葛藤が描かれています。資料の途中で、大切なこと…応援係になっていた彼の思いを聞けていたことに気づく生徒の姿があり、その場面を読んだときに、1年生のみなさんの表情がパッと明るくなりました。最後には、社会に出れば友情や協力も大切だけれど、結果を求められる時もある…と少し意地悪な話をしました。1年生らしく友情を大切にしたいと考えた人が多かったのですが、結果にもこだわりたいと書く人もいました。

練習では大縄跳びがなかなかうまく跳べなかった1年生ですが、体育大会当日はどのクラスもそれまでにない記録を出し、『道徳の話と一緒にやな！』という声も聞こえました。



### 《ワークシートより（授業の感想）》

- ・社会に出てしまうと友情や思いやりだけでは通用しないこともある。だから、友情や思いやりを大切にしながらも結果を求めていきたい。
- ・勝てる試合の時に友情とか考えてたら試合が終わってしまうから、自分は結果を求めていく。
- ・友情は大切だし、場合によっては結果も大切なことがある。結果には、友だちやライバルなどの支えもあるからこそだと思うので、一つ一つの決断や尊重の気持ちを大切にしたい。
- ・友情や思いやりは、いつか自分に返ってくる。だから優先するのは友情や思いやり。でもTPOで考える。みんなへの心を一つにして全員で跳ぶ（作り上げる）のはとても大切だと思った。
- ・友達をしっかりと大切にしたい。（でも）友達を蹴落としてでも出世してやるぜー。



## 2年生

### “挨拶できなきゃ留年”

ある高校で、生徒の挨拶の態度をABCの3段階で評価することになりました。「Cの評価をとった生徒は進級が認められない」という実話をもとに、“挨拶の態度を評価することに賛成か、反対か”を尋ねました。

「挨拶はできて当然なので評価しても問題ない」という賛成派と、「挨拶は強制してやるものではない」という反対派にきれいに分かれ、さまざまな意見が出ましたが、どちらにしでも“挨拶は大切”という考え方ばかりでした。最後には「挨拶はどのような思いを持ってするものなのか」を考えました。普段から自然に“おはよう”“こんにちは”と言っている人には「どのような思いで」というのが、難しかったようです。だからこそ、この時間を通して“挨拶をすること”について、じっくり考えられたのではないかと思います。

「今の自分は、気持ちのこもった挨拶ができますか。」この機会にぜひ自分自身を振り返ってみてください。7月にはチャレンジ体験があります。そこでぜひ“心のこもった挨拶”を。

#### 《ワークシートより》

- ・“挨拶はどのような思いを持ってやりますか”と聞かれたときに、難しかったけど、班で相談したときに気づくことができたのでよかった。
- ・挨拶はいやいやれと言われても、何もうれしくない。自分からちゃんと挨拶をすることで気持ちが伝わるのだと思う。
- ・挨拶は人として大切なことだし、人とコミュニケーションをとることが大切だと思う。また、目上の人には相手のことを尊重する気持ちで挨拶することが大切。
- ・挨拶は大切だと思うけど、この高校の制度にはやっぱり反対。挨拶は自然にできないといけないから、留年を使わずに挨拶ができたらいいなと思った。



## 3年生

### “国際理解・これぞ日本”

6月の修学旅行で行う平和学習に向けて、国際理解を深めるために、まずは自分たちのこと“日本”を知る時間を持ちました。修学旅行では外国人留学生の方と交流する機会があるので、「自分たちが住む日本のことを自分たちがしっかりと理解し、その伝統や良さを留学生の人たちにも伝えられるように…」というねらいで授業を行いました。「日本の主食は?」「日本には美しい〇〇がある!」など、クイズ形式にしてグループで答えを出してもらいましたが、「日本の中学校は〇〇がさかん!」という質問の正解はなかなか出ませんでした。(正解は“部活動”でした！)

国際理解は、一方的に相手を理解するのではなく、お互いに理解しあい、尊重することに意味があります。そうして、世界中の人々が互いの違いを理解し、尊重しあって、平和に暮らしていくのです。「他を知るにはまず己から。」有意義な修学旅行になりますように。



#### 《ワークシートより（授業の感想）》

- ・日本のことや文化を留学生の方に知ってもらうには、まず自分が日本のことや文化を好きにならないといけないと思った。
- ・まだ日本のことや文化を知らない外国人に、日本を知ってもらいたいと思う。外国に対しても、いったい日本とどこが違うのか、興味がわいた。
- ・2020年の東京オリンピックなどの大きなイベントや、普段の外国人観光客に何か聞かれたら、すぐに日本のことや文化を詳しく答えられるようになりたい。
- ・日本を理解することで、日本の良くないことに気づくこともあるから、日本を見直していきたい。
- ・まだ、今の自分じゃ、日本について知らないことが多いと知った。